

読む力

中級

コミュニケーション学院

[監修] 奥田純子

[編著] 竹田悦子・久次優子・丸山友子

八塚祥江・尾上正紀・矢田まり子



くろしお出版

読む力

中級

コミュニケーション学院

〔監修〕 奥田純子

〔編著〕 竹田悦子・久次優子・丸山友子

八塚祥江・尾上正紀・矢田まり子



くろしお出版

はじめに

『読む力 中級』は、大学や大学院、専門学校で学んでいる人、これから学ぼうとする人、そして、「中級の壁」を越えたいと思っている人を対象にした教材です。読むことにおいて「中級の壁」というのは、社会や専門分野で出会うさまざまな文章を詳細な点まで理解したり、表面的な意見や情報ばかりでなく、含意された意見や立場なども理解したりすることを言います。この壁を越えれば、大学などで学ぶための準備が十分に整った読みの上級者になることができます。本書は、上級者を目指して「中級の壁」を越える第一歩を踏み出したいと思っている学習者のために作りました。

みなさんは、日本語の文章を読んだときに、「ことばの意味は分かるのに、言いたいことが分からない」という経験はありませんか。母語で書かれた文章を読むときにも、同じことが起こります。

原因は四つ考えられます。一つ目は、文章自体に問題がある場合です。これは書き手の問題ですから、分からなくて当然です。二つ目は、文章のテーマや話題について、読み手にあまり知識や経験がない場合です。三つ目は、読み手に語彙・表現の知識と文または談話(文章)の文法知識が足りない場合です。そして、四つ目は、読み手の文章の理解力が低い場合です。文章の理解力というのは、ことばの文字通りの意味だけではなく、文と文や段落と段落などの関係性や話の展開などを考えながら、書き手が伝えようとする内容や情報、あるいは意図や主張を理解する能力です。少し難しい言葉でいうと、認知処理の能力ということです。

「中級の壁」を越えるには、特に、三つ目の日本語の知識と四つ目の文章の理解力、つまり認知処理の能力が必要です。大学等で学ぶということは、文章のテーマや話題になっている専門領域の知識を得たり、考え方を学んだり、そこでの問題を解決したりする力を養うことです。そのためには、日本語の知識と認知処理の能力が必須です。

本書は、専門領域の内容そのものは扱いませんが、みなさんが専門分野の文章を読むときに役立つと考えられる内容で、書き手の立場や視点が明確な文章を選んであります。そして、日本語の知識と認知処理を日本語で行うための基礎力を身につける問題を数多く入れました。その認知処理のスキルを明示したのが、本書の新しい点です。

本書が、みなさんにとって、上級者への一歩を踏み出す一助となれば幸いです。

2011年 神戸にて東風を待ちつつ

奥田純子
おくた しゅんこ

目次

はじめに iii	この本の使い方 v
----------------	-----------------

第1課	心のバリアフリー —靴と車椅子..... 1	□乙武洋匡(著)
第2課	30代ビジネスマンの「心の病」を考える 9	□香山リカ(著)
第3課	「少女マンガ家ぐらし」へ —夢を叶える 19	□北原菜里子(著)、岩波書店編集部(編)
第4課	プロフィール —夢を実現させ続ける外食産業の雄..... 27	□村上龍(著)、テレビ東京報道局(編)
第5課	インタビュー —夢に日付を入れれば、今日やるべきことがわかる..... 35	□村上龍(著)、テレビ東京報道局(編)
第6課	いつも学びがある —患者からも学ぶ。それを伝える役割がある。..... 45	□テレビ東京報道局(編)
第7課	「早朝時間」のフル活用で成功した人たち 53	□箱田忠昭(著)
第8課	緑のカーテン 65	□「西日本新聞」『春秋』2007.8.10
第9課	環境立国ニッポンの挑戦 —第1章 水資源(4)進む廃水浄化 再利用「当たり前」.. 73	□『産経新聞』2008.1.23
第10課	渡り鳥はなぜ迷わない? 81	□東嶋和子(著)、北海道新聞取材班(著)
第11課	フリーズする脳 —思考が止まる、言葉に詰まる 91	□染山節(著)

この本の使い方

対象とする学習者

- 大学、専門学校等で学んでいる人、学ぼうとしている人
- アカデミックな日本語を読めるようになりたい人
- 日本語能力試験(N1、N2)、日本留学試験に向けて読解の勉強をしたい人

この本の特徴

特徴1 ... 学習目標が見える！

●各課の学習目標には[できること1]と[できること2]の2つがあります。

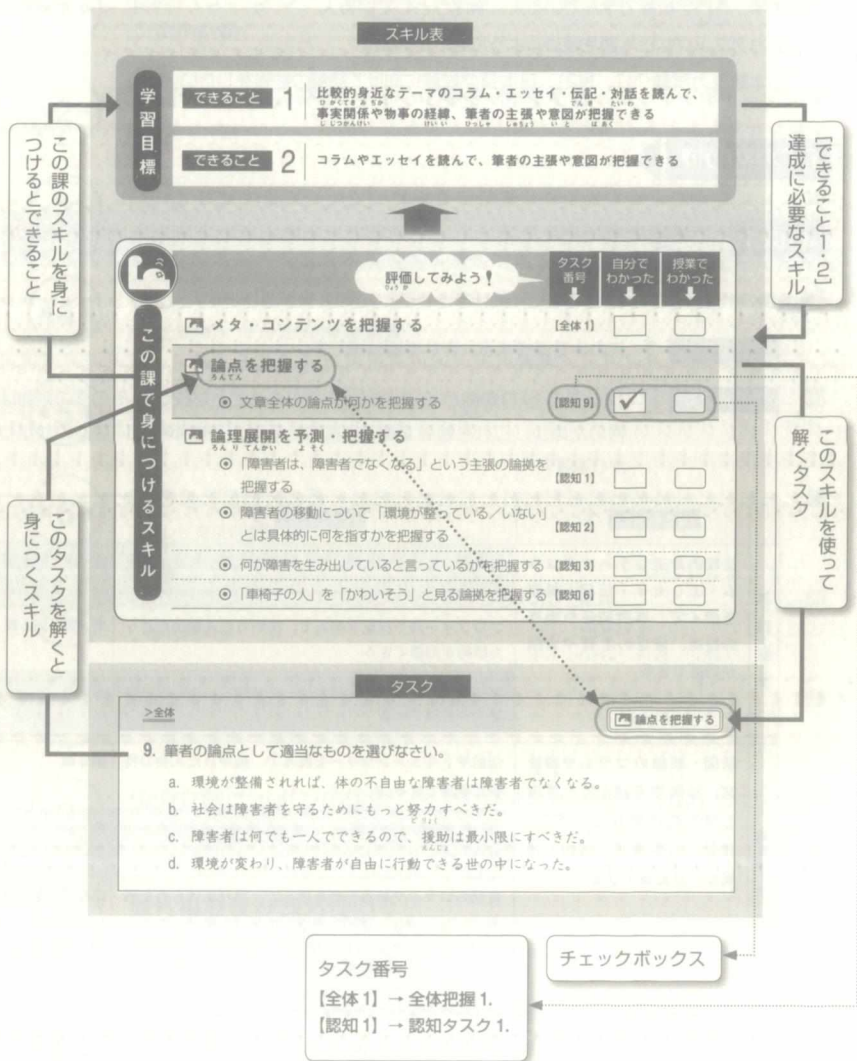
できること 1 この本で達成する大きな学習目標です。

できること 2 [できること1]を細かく分けたのが、[できること2]です。その課の勉強は何のためか、これを勉強することによって何ができるようになるのかわかります。

	できること 1	できること 2	
第1課～第5課	比較的身近なテーマのコラム・エッセイ・伝記・対話を読んで、事実関係や物事の経緯、筆者の主張や意図が把握できる	コラムやエッセイを読んで、筆者の主張や意図が把握できる	第1課、第2課
		プロフィールや伝記を読んで、描かれた人物がたどった経緯が把握できる	第3課、第4課
		対話形式のテキストを読んで、テーマに沿って発言の要点が把握できる	第5課
第6課～第11課	新聞・雑誌のコラムや解説文、教養書を読んで、詳細な事実関係や現状、展望、背景、因果関係、理由、根拠などが把握できる	伝記やドキュメンタリーを読んで、描かれた人物の特徴が把握できる	第6課
		自己啓発書の一節を読んで、筆者の提案とその根拠が把握できる	第7課
		新聞のコラムや特集記事を読んで、取り上げられた事象の現状、展望、原因、問題点などが把握できる	第8課、第9課
		一般向けの解説文を読んで、事実関係、背景、方法、原因、理由などが把握できる	第10課、第11課

特徴2 ... 必要なスキル(技能)がはっきりわかる！

- 課のはじめに「この課で身につけるスキル(スキル表)」があります。スキルは、全体把握と認知タスクを解くことによって確認できます。「タスク(問題)」⇒「スキル(技能)」⇒「学習目標(できること)」というつながりがはっきり見えます(スキルの内容については pp.xi-xii を参照)。



●「この課で身につけるスキル(スキル表)」のチェックの仕方

タスクを解いた後、自分で「この課で身につけるスキル(スキル表)」や巻末の「スキル一覧表」にチェック✓してみてください。得意なスキル、苦手なスキル(あなたに必要なスキル)がわかります。自分の弱い部分を知って勉強すれば、読む力が確実に身につきます。

タスクを解く

➡

評価してみよう!

タスク
番号
↓

自分で
わかった
↓

授業で
わかった
↓

☒ 論点を把握する
ろんてんを ばつかくする

☒ 筆者の論点を把握する
ひんしやのろんてんを ばつかくする

[認知9]

☒
☒

何ができたの? → 得意なスキル

何ができるようになったの?
→ 苦手なスキル = 必要なスキル

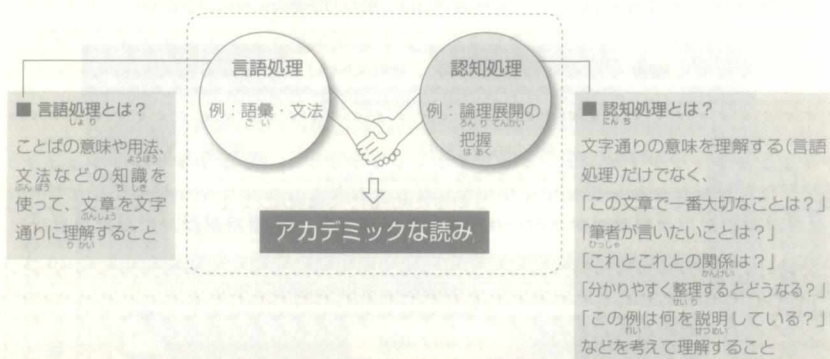
● 巻末には「スキル一覧表」があります。その課の学習を終えて、それぞれのスキルが身についたかどうかを自己評価し、チェック✓してみましょう。得意なスキル、苦手なスキル(あなたに必要なスキル)を把握して、スキル向上に役立てましょう。

学習目標	できること①	比較的身近なテーマのコラム・エッセイ・伝記・対話を読んで、事実関係や物事の経緯、筆者の主張や意図が把握できる		
	できること②	コラムやエッセイを読んで、筆者の主張や意図が把握できる		
各課詳細	課	第1課	第2課	第3課
	タイトル	心のバリアフリー	30代ビジネスマンの「心の病」を考える	「少女マンガ家ぐらし」へ
	メタ・コンテンツを把握する	● ☒	● ☒	● ☒
	全体の流れを把握する		● ☒	● ☐
	テーマを把握する			
	論点を把握する	● ☐	● ☐	
	論理展開を予測・把握する	● ☒	● ☐	● ☐
	明示的な主張・意図を把握する	● ☒		● ☒
	結論を把握する			

チェックボックス

特徴3 ... アカデミックな読みをするための3種類のタスク

●大学、専門学校で必要とされるアカデミックな読みとは？



●各課にはアカデミックな読みをするための3種類のタスク(「全体把握」「言語タスク」「認知タスク」)があります。

1. 全体把握

メタ・コンテンツ(次ページ参照)と文章の種類を問うタスクです。段落を正しい順序に並び替えたり、どのような読者層を対象に書かれた文章か把握したりするタスクもあります。テキストを読んで、そこに書かれたことはつまり何なのか、というメタ・コンテンツの形にまとめる力は、レジュメやレポートを書くときに必要です。まず、時間をかけずにサッと読んで、解いてみてください。もし、分からなかったら、「言語タスク」「認知タスク」を解いた後もう一度考えてみてください。

2. 言語タスク

「認知タスク」を解くために必要な言語処理を問う問題なので、「認知タスク」を解く前に解いた方が効果的です。

3. 認知タスク

言語処理だけでなく、認知処理を同時に必要とするアカデミックな問題です。